

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

みんなの力でつくる「石炭博物館再生プロジェクト」

2 地域再生計画の作成主体の名称

夕張市

3 地域再生計画の区域

夕張市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

石炭博物館はこれまで道内・外へのPR活動を主に実施してきたことから、市民による利用や愛着がなく、郷土の重要な資料としての認識が薄い。また、旧産炭地域の各市町との連携が取れていないため、各市町が単独で資料館等を運営しているため、旧産炭地域を結ぶ関連性が薄く、交流人口が非常に少ない状況である。

4-2 地方創生として目指す将来像

昭和55年の開館以来施設の改修、展示の計画的な更新が行われていない状況であるが、収蔵資料や展示物の関係学術団体や研究者からの評価は高く、国内唯一の見学炭鉱である「史蹟 夕張鉱」は非常に重要な施設となっている。

このことから、市民や見学者がゆっくりと時間を過ごせるような環境作りと、学びの場として収蔵品をデータベース化、産業遺産として「空知炭鉱遺産」や「北海道遺産」等への更なる位置づけを目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
入場料収入	4,318千円	0千円	9,182千円	9,000千円
物品販売収入	0千円	0千円	750千円	500千円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
入場料収入	4,500千円	1,800千円	24,482千円
物品販売収入	250千円	100千円	1,600千円

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

石炭博物館は夕張市内で3大観光施設と位置付けられているが、展示内容の陳腐化が著しい状況から、来場者数は減少傾向にある。

本事業は、空知管内の旧産炭地域における産業遺産を後世に伝えて行くうえで中核的な施設であるため、その機能をこれまで以上に発揮していくため「生きるに向き合う博物館」をメインテーマとして「石炭博物館再生プロジェクト」を実施する。

また、平成29年度より市内体育施設を指定管理する事業者及び、市内宿泊施設事業者並びに各種旅行業者等の様々な関係事業者と業務提携し、入館者数の増加を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

夕張市

② 事業の名称：

みんなの力でつくる「石炭博物館再生プロジェクト」

③ 事業の内容

重要で希少価値の高い収蔵品等を安全で且つ永続的な維持管理を行うため、施設機能の維持に伴う施設整備及び収蔵品等を適切に維持管理するための施設環境の整備。

また、交流人口の増加やコミュニティの形成を図るため、交流・滞在エリアを構築するための施設整備及び汎用性の高い活用が可能となる施設の整備を行う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

専門性の高い知識と経験を持った事業者による指定管理者制度を平成30年度より実施し、利用料金制及び管理委託料の導入による安定的な経営と、地元商工会議所と連携し優良な特産品の提供及び新規特産商品のPR展示会等も開催しながら、年収160万円（売上総利益）以上を目指す。また、価値の高い市所有及び旧産炭地域市町所有の収蔵品による企画展の定期的な開催及び石炭関連シンポジウム等を開催し、集客力と収益力向上を高め、年間3.2万人、入場料収入2,800万円以上を目標とし、5年以内の自立を目指す。

【官民協働】

市内体育施設の指定管理事業者と提携し、合宿誘致時に博物館見学を積極的にPRしてもらい、また、市内宿泊施設の事業者及び各種旅行業者と業務提携し宿泊パック等の割引料金を設定し、石炭博物館を積極的に利用してもらうなど、様々な関係事業者と業務提携を行いながら、多方面からの集客力向上を図る。

【政策間連携】

市の総合戦略に掲げる「石炭博物館再生プロジェクト」による、地域住民及び夕張を支援してくれる方々、地域おこし協力隊員との協働による「石炭産業の歴史と文化映像化・語りべ育成事業」により映像化された資料と語りべ育成事業による語りべ等による、講演会など様々なイベントを実施し、特産品の販売促進と入場者数の増加を目指す。更に、北海道空知総合振興局で策定している「元気そらち！産炭地域活性化戦略」とも連携し、広域的な地域づくり政策による交流人口の増加との相乗効果により来館者数の増加を目指す。

【地域間連携】

旧産炭地域各市町の収蔵品展示ブースを設置し、各市町の特徴的な収蔵品の提供による展示、また、市所有の収蔵品を他市町への貸出等を行いながら、夕張の石炭博物館のみならず、北海道空知総合振興局及び旧産炭地域市町全体で石炭産業PRを行い交流人口の増加を目指す。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
入場料収入	4,318千円	0千円	9,182千円	9,000千円
物品販売収入	0千円	0千円	750千円	500千円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
入場料収入	4,500千円	1,800千円	24,482千円
物品販売収入	250千円	100千円	1,600千円

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

石炭博物館事業評価委員会を設立し、石炭博物館における実施事業等の進捗状況の報告を受け評価検討を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行いながら目標達成に向けた取組を推進する。

評価結果を夕張市のホームページにて公表する。

【外部組織の参画者】

石炭博物館事業評価委員会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 494,909千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 石炭博物館再生プロジェクト

事業概要：石炭博物館の再生を目的とし、「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業（文化庁補助）」を活用し、石炭博物館再生プロジェクト実行委員会による各種イベント・資料整理等の実施

事業主体：夕張市

事業期間：平成27年度～平成33年度

（文化庁補助事業は平成27・28年度のみ）

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

石炭博物館事業評価委員会を設立し、石炭博物館における実施事業等の進捗状況の報告を受け評価検討を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行いながら目標達成に向けた取組を推進する。

評価結果を夕張市のホームページにて公表する。

【外部組織の参画者】

石炭博物館事業評価委員会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
入場料収入	4,318千円	0千円	9,182千円	9,000千円
物品販売収入	0千円	0千円	750千円	500千円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
入場料収入	4,500千円	1,800千円	24,482千円
物品販売収入	250千円	100千円	1,600千円

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、夕張市教育委員会教育課が5月末時点で市ホームページにより公表を行う。